

学 科: 経済学部・経済学科

担当科目: 地理学 I・II, 沖縄の地理, 経済地理 I・II

基礎演習 I・II, 集落地理論 I, 社会生活課題研究 I

社会科・地理歴史科教育法・同演習

学歴等のプロフィール

①【主要学歴】②【学位】③【所属学会】④【社会的活動】

- ① 立正大学大学院地球環境科学研究科(地理空間システム学専攻)博士後期課程研究指導修了満期退学
立正大学大学院文学研究科(地理学専攻)修士課程 修了
- ② 文学修士
- ③ 日本地理学会. 人文地理学会. 沖縄地理学会(評議員, 幹事). 立正地理学会. 歴史地理学会.
日本地理教育学会. 経済地理学会. 地理情報システム学会. 日本地球惑星科学連合.
- ④ 宜野湾市史編集委員会委員(2008年～現在). 宜野湾市文化財保護審議会委員(2009年～現在).
大阪経済大学日本経済史研究所特別研究員(2009年～現在). 読谷村史移民・出稼ぎ編専門部会委員
(2009年～現在). 豊見城市史移民編専門部会委員(2009年～現在). 沖縄市史編集委員(2014年～現在).
栗国村デジタルアーカイブス専門委員(2014年～現在).

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
1. 教育活動・方法の実践例 (1) 担当講義 1) 地理学 I・II	2012 年度～現在	地理学 I は、日本・世界の諸地域における地理的環境の特性について、映像をまじえての講義を実施。地理学 II では、「経済立地論」を中心とする講義を行った。
2) 沖縄の地理	2007 年度～現在	琉球列島の地理的環境の特性について、自然と文化の関係性を意識して、スライド写真、ビデオなどの映像を取り入れた講義を実施した。
3) 社会科・地理歴史科教育法 (高等学校地理歴史科)	2009 年度～現在	社会科・地理歴史科教育法では、学校現場での経験を生かし、指導案の作成方法、板書・発問の技術、視聴覚機器の活用方法など、「授業」の基本作業について講義した。また、現職の社会科教諭を招いて、講話を単年度 2 回実施した。

4) 社会科・地理歴史科教育法演習(高等学校地理歴史科)	2012年度～現在	本演習では、ゼミ生全員が3回の模擬授業(世界史・日本史・地理)を行い、授業批評を行った。また現場の社会科教師を招き、学校現場の現状と課題などについて、ディスカッションを行った。
5) 集落地理論 I	2012年度～現在	集落地理論 I では、「沖縄村落の歴史地理」に関する講義を行った。各種地図の活用方法、フィールドワークの方法(景観・社会空間の分析)について学習し、村落空間の諸相を検討した。
6) 基礎演習 I・II	2013年度～現在	基礎演習 I・II は、経済学科1年生の必修科目である。ゼミでは、沖縄の社会・経済に関する基礎的な知識をふまえ、沖縄経済の課題についてディスカッションを行った。また普天間飛行場を含む宜野湾市内の地理的空間の変容を理解するためのバス巡検も実施した。
2. 作成した教科書、教材等		
1) 井手策夫・澤田裕之の編著『地域の視点』(文化書房博文社)、第4章第3節担当。	2004年4月	本書は地理学の専門書として刊行されたものである。崎浜は「沖縄村落の歴史地理」を担当し、「集落地理論 I」における講義資料にも活用している。
2) 藤波潔編著『社会科・地理歴史科・公民科「模擬授業」精選録』(沖縄国際大学)、高等学校地理歴史科模擬授業実践に関する解説。	2009年2月	本書は、本学教職課程(中学校社会科、高等学校地理歴史科・公民科)における模擬授業・指導案を掲載したものである。崎浜が担当する高校地歴科ゼミからは、日本史(1名)と世界史(2名)の指導案が掲載され、その解説を担当した。
3. 学外での教育活動		
1) 球陽高校プロジェクト全体発表会審査委員 (於: 県立球陽高等学校)	2006年12月	県立球陽高校進路指導部主催による2年生対象の進路研究プロジェクト発表会の審査委員を担当した。
2) 広島県坂中学校修学旅行歴史・平和学習講師 (於: ワシントンホテル)	2008年2月	修学旅行で来沖した広島県安芸郡坂中学校2年生に対して、「ヘリ墜落事件」の諸相、「米軍統治下の沖縄」について講話をした。
3) 沖縄国際大学教職課程主催社会科シンポジウム (於: 沖縄国際大学)	2009年2月	文部科学省特色 GP 事業による教職課程社会科シンポジウムの総合司会とコメンテーターを担当。
4) 読谷高校セミナー講師 (於: 読谷高等学校)	2009年11月	読谷高校進路指導部主催のセミナー講師として、3年8組の生徒に対し、「地理学の ABC」というテーマで授業を行った。

5) 沖縄地理学会第 6 回地理教育シンポジウム (於: 沖縄国際大学)	2010 年 7 月	沖縄地理学会主催の第 6 回地理教育シンポジウム「教養としての地理・地理教育のあり方を考える」において、コメンテーターを担当。
6) 広島県坂中学校修学旅行・歴史・平和学習講師 (於: ホテルシティコート)	2011 年 12 月	修学旅行で来沖した広島県安芸郡坂中学校 2 年生 100 名に対して、「ヘリ墜落事件」、「復帰前の沖縄社会」について講話をした。
7) 読谷高校セミナー講師 (於: 県立読谷高等学校)	2011 年 12 月	読谷高校進路指導部主催のセミナー講師として、3 年 8 組の生徒に対して、「地理学の面白さ」というテーマで授業を行った。
8) 宜野湾市立博物館・市民講座講師 (於: 宜野湾市立博物館)	2012 年 9 月	「宜野湾市の地形と地名」と題し、宜野湾市の嘉数・愛知・長田での巡検を行った。とくに地形と地名の関係性と、集落の景観について説明を行った。
9) 宜野湾市イガルー・シマ文化財教室 (於: 宜野湾市立博物館)	2014 年 10 月	宜野湾市嘉数区・我如古区において、地形と地名の関係性、集落の歴史景観について、市民向けの巡検を行った。
10) 読谷高校セミナー講師 (於: 県立読谷高等学校)	2014 年 12 月	読谷高校進路指導部主催のセミナー講師として、2 年 8 組の生徒に対して、「地理学の ABC」というテーマで授業を行った。
11) 沖縄カトリック中学高等学校進路講演会講師 (於: 沖縄カトリック中学高等学校)	2015 年 5 月	沖縄カトリック中学高等学校において、進路講演会の講師を担当。進路選択及び現在の職業に至るまでの過程について講話をした。
12) 沖縄地理学会第 9 回地理教育シンポジウム総合司会 (於: 沖縄国際大学)	2015 年 7 月	戦後 70 年の節目ということで、「地理・地図教育と平和学習」というテーマのシンポジウムを開催し、企画、総合司会を担当した。
13) 教員免許状更新講習講師 (於: 沖縄国際大学)	2011 年～現在	「フィールドで学ぶ沖縄の地理空間」というテーマで、教員免許状更新講習講師を担当した。宜野湾市・中城村・北中城村・沖縄市をバス巡検し、湧水・石灰岩地形などの自然環境、村落や沖縄市中心市街地(ゴヤ十字路付近)の都市景観、さらに土砂災害の現場を見て歩いた。2013 年は、宜野湾市我如古区と愛知区において、村落景観の特性について、歩きながらの講習を実施した。
4. 南島文化研究所での仕事	2000 年～2012 年	2000 年～2012 年までの 12 年間、南島文化研究所専任所員として、各種講演会や研究会、地域学習、窪徳忠琉中関係研究奨励賞に関する実務を担当。他には学術協定を結ぶ韓国全南大学校湖南文化研究所、中国福建師範大学中琉歴史関係研究所との共同研究に関わる事務も担当した。現在、南島文化研究所副所長を兼任。

研究業績等

【著書・論文】

- ・「南洋群島の歴史と概要」、「太平洋地域への渡航」 浦添市教育委員会編『浦添市史移民編』(ちとせ印刷)、262-274 頁、2015 年 3 月.
- ・「地域資産としての沖縄の文化的景観」 沖縄国際大学公開講座委員会編『沖縄を取り巻く経済状況-沖縄に流れている俗説は果たして正しいのか-』(東洋企画)、257-271 頁、2015 年 3 月.
- ・「近代期八重山諸島におけるマラリア有病地の地理的環境-高島と低島の地理的環境の差異に着目して-」 沖縄地理学会編『沖縄地理』第 14 号 25-38 頁、2014 年 7 月.
- ・『浦添市移民編 証言・資料編』 浦添市教育委員会編 2014 年 3 月(分担).
- ・「宜野湾市・普天間飛行場の地形と旧土地利用」 沖縄国際大学経済学科編『沖縄経済入門』(東洋企画)、145-157 頁、2014 年 3 月.
- ・「本部町における村落景観の社会性-古村と屋取集落の景観比較-」 やんばる学研究会編『やんばる学研究会-会誌』創刊号 110-118 頁、2013 年 7 月.
- ・「もうひとつのウラシオンチュたちの体験-渡航・戦争・戦後-」 浦添市教育委員会編『浦添市移民史 ビジュアル版 その2 アジア太平洋・国内編』 2013 年 3 月(分担).
- ・「沖縄地方の地域性」、「沖縄地方の地域誌」 手塚章・堂前亮平・野澤秀樹編『日本の地誌 10 九州・沖縄編』(朝倉書店)、2012 年 11 月.
- ・「普天間飛行場の旧集落とその耕地」 (財)日本地図センター編『地図中心』476 号 3-11 頁(上原富二男氏と共著) 2012 年 5 月.
- ・『ぎのわんの地名-内陸部編-』 宜野湾市教育委員会文化課編 2012 年 3 月(分担).
- ・「マラリア有病地の地理的性格-宮古島・東仲宗根添を事例として-」 大塚昌利編『地域の諸相』(古今書院)、139-154 頁、2010 年 3 月.
- ・『豊見城市史 第 3 巻 新聞集成編』 豊見城市教育委員会文化課編 2010 年 3 月(分担).
- ・「济州島の地域性-景観地理的素描-」 沖縄国際大学南島文化研究所編 南島文化研究所叢書2『韓国・济州島と沖縄』(東洋企画)、1-20 頁、2009 年 3 月.
- ・「近代八重山諸島におけるマラリア有病地の地理的性格」 沖縄国際大学南島文化研究所編『八重山、与那国島調査報告書(1)-地域研究シリーズNo.34-』1-13 頁、2007 年 3 月.
- ・「民家景観からみるヤンバルの集落-1988 年の国頭村における集落調査から-」 沖縄国際大学社会文化学会編『社会文化研究』第 9 巻 1 号 103-113 頁、2006 年 3 月.
- ・「八重山諸島とマラリア」 沖縄国際大学南島文化研究所編 南島文化研究所叢書1『八重山の地域性』(東洋企画)、17-34 頁、2006 年 3 月.
- ・「祭祀芸能の地理的基盤-本部町村落の景観変化-」 沖縄国際大学公開講座委員会編『沖縄芸能の可能性』(東洋企画)、193-220 頁、2005 年 12 月.

【報告書】

- ・『普天間飛行場旧土地利用再現(第二期)調査報告書』 宜野湾市教育委員会編 2006 年 3 月(分担)
- ・『ヘリ墜落事件は、マスコミにどのように報道されたか』 沖縄国際大学南島文化研究所・ヘリ墜落事件報道実態調査研究会編 2006 年 1 月(分担)
- ・『瑞慶覧地区文化財保護マスタープラン策定事業 キャンプ瑞慶覧旧土地利用再現調査業務報告書』 宜野湾市教育委員会編 2005 年 3 月(分担)

- ・『普天間飛行場埋蔵文化財発掘支援検討調査事業 普天間飛行場旧土地利用再現調査業務報告書』 宜野湾市教育委員会編 2005年3月(分担).

【教材】

- ・『訪ねてみよう粟国島のあんなところ こんなところ』 粟国村編 2011年3月(監修)

【講演会】

- ・「大東諸島の地理的景観」『第2回北大東島調査報告講演会』沖縄国際大学南島文化研究所・北大東村教育委員会共催 (於:北大東村立人材交流センター) 2015年3月
- ・「景観構成要素としての屋敷林」第36回南島文化市民講座『植物からみたシマの原風景－フクギに守られる村落－』 (於:沖縄国際大学) 2014年11月
- ・「伝承から読み解く宮古島のマラリア」沖縄国際大学南島文化研究所・韓国全南大学校湖南文化研究所学術交流講演会『韓国と沖縄の感性の表象』(於:沖縄国際大学) 2013年12月
- ・「村落景観からみる戦後の生活変容－国頭村の村落を事例として－」第35回南島文化市民講座『やんばるの戦後生活を考える～その基層・変容・継承について～』(於:名護市中央公民館) 2013年11月
- ・「琉球列島の疾病地理－八重山諸島のマラリアを中心として－」協定研究所間学術交流シンポジウム(於:中国福建師範大学)2010年11月
- ・「北山(山原)の歴史と文化－文化財指定地図資料の特徴－」今帰仁村教育委員会『今帰仁村指定文化財記念事業特別解説会』(於:今帰仁村歴史文化センター) 2008年2月

【学会・研究会発表】

- ・「明治期作成の地籍図の特徴－那覇区を事例として－」第32回沖縄地理学会大会(於:琉球大学) 2014年7月
- ・「近代宮古・八重山諸島におけるマラリア有病地の地理的環境－宮古島・石垣島・西表島を事例に－」第7回多良間島研究会(於:国士舘大学) 2014年7月
- ・「マラリア有病地の歴史地理－宮古島・石垣島・西表島を事例に－」第31回沖縄地理学会大会(於:琉球大学) 2013年7月
- ・「近代宮古・八重山諸島におけるマラリア有病地の地理的環境」第68回立正地理学会大会(於:立正大学) 鈴木厚志氏と共同 2013年6月
- ・「近代先島諸島におけるマラリア有病地の空間表現」2013年度日本地球惑星科学連合大会(於:千葉県幕張メッセ国際会議場) 鈴木厚志氏と共同 2013年5月
- ・「近代先島諸島におけるマラリア有病地の地域構造」日本地理学会春季学術大会(於:立正大学) 2013年3月
- ・「本部町における村落景観の社会性－古村と屋取集落の比較－」2012年度やんばる学研究会(於:名護市中央公民館) 2012年11月
- ・「近代宮古島におけるマラリア有病地－歴史 GIS による空間表現－」第30回沖縄地理学会大会(於:琉球大学) 2012年7月
- ・「近代先島諸島におけるマラリア有病地の空間表現－宮古島を事例として－」第67回立正地理学会大会(於:立正大学) 2012年6月
- ・「近代先島諸島におけるマラリア有病地の空間表現－宮古島を事例として－」2012年度日本地球惑星科学連合大会(於:千葉県幕張メッセ国際会議場) 鈴木厚志氏と共同 2012年5月
- ・「近代先島諸島におけるマラリア有病地の地域構造」日本地理学会春季学術大会(於:立正大学) 2012年3月
- ・「近代西表島におけるマラリア有病地－歴史 GIS による空間表現－」第29回沖縄地理学会大会(於:沖縄大学) 2011年7月

- ・「近代西表島におけるマラリア有病地の空間表現」.第 66 回立正地理学会大会(於:立正大学) 鈴木厚志氏と共同 2011 年 6 月
- ・「近代先島諸島におけるマラリア有病地の空間表現－西表島の例－」 2011 年度日本地球惑星科学連合大会(於:千葉県幕張メッセ国際会議場) 鈴木厚志氏と共同 2011 年 5 月
- ・「近代先島諸島におけるマラリア有病地の空間表現－石垣島・名蔵を事例として－」 第 28 回沖縄地理学会大会(於:沖縄国際大学) 2010 年 7 月
- ・「近代先島諸島におけるマラリア有病地の空間表現－石垣島・名蔵の例－」.第 65 回立正地理学会大会(於:立正大学) 鈴木厚志氏と共同 2010 年 6 月
- ・「近代先島諸島におけるマラリア有病地の空間表現」 2010 年度日本地球惑星科学連合大会(於:千葉県幕張メッセ国際会議場) 鈴木厚志氏と共同 2010 年 5 月
- ・「琉球國図(1824 作製)にみる地図表現と地名表記」 2008 年度南島地名研究センター大会(於:沖縄国際大学) 2008 年 10 月
- ・「マラリア有病地の歴史地理－宮古島を事例として－」.第 26 回沖縄地理学会大会(於:琉球大学) 2008 年 7 月
- ・「田中啓爾文庫の沖縄関係地図」.第 25 回沖縄地理学会大会(於:琉球大学) 2007 年 7 月
- ・「古村と屋取集落の景観比較－本部町を事例として－」日本地理教育学会・沖縄地理学会合同大会(於:沖縄国際大学) 2006 年 10 月
- ・「村落景観からみた近代本部の生活様式－古村と屋取集落を比較して－」.2006 年度南島地名研究センター大会(於:琉球大学) 2006 年 5 月
- ・「地籍資料からみる粟国島」.第 60 回立正地理学会大会(於:立正大学) 2005 年 6 月

【国際学会(巡検)】

- ・International Geographical Union (IGU) 2013 Kyoto Regional Conference Commission on Political Geography
Post-Conference Field Trip. Militarization and Demilitarization of Okinawa. Co-organizers Takashi Yamazaki,
Yasushi Sakihama.

(2005 年以降の業績を掲載)

研究分野

人文地理学, 歴史地理学, 社会科教育.

【E メール・ホームページ等】

sakihama@okiu.ac.jp

2015 年9月1日現在